

叢雲催眠

おまけ本



「ふん！
朝からアンタらの朝勃ち生チンポしゃぶって
綺麗にスツキリさせてあげてるんだから、感謝しなさいッ！」

「はーはいW」

「まずは俺のチンカス
嗅いで心の籠った
挨拶しようなW」

「すう~~~~んっ♡

今から叢雲がこのチンカス
まみれ汚ちんぽに舌と唾液を
たっぷり絡めたお掃除します……」



「おら
ケツ穴に
キスしろ！」

「くっ……！」

「ぶふっW
無様にケツ穴
舐めてやがるW
マジぐうしこるW」

しゅん

しゅん

ちゅ？

すー……♡

はー……♡

「おほっ♡
マジ気持ちいいわっW
一発ぶん殴つてやりたいっで
思ってた女を跪かせてアナル舐め
あ〜♡優越感♡」

しゅん

しゅん

ちゅぽ

ちゅるるる♡



ちゅこちゅこ

のろろ

じゅんじゅん

ぢゅん

ぢゅん
ぢゅん

「ああー……♡
濃いのが上がってきたぞおおー♡
顔射で出すからな！♡」

「お前の高慢ちきな顔面に
濃いのがぶっかけてやる！♡」

ぢゅん

ぢゅん

ぢゅん

『あ〜♡出すぞ〜♡』

はー

はー

『顔面でしつかり
受け止めろ!』

便女

催眠中

チン

ハッ

うわ

うわ

うわ

うわ



たははは

「んんん」

い

ん

ん

便女

催眠中

ん

ん
ん
ん
ん
ん
ん

ん

ん

ん

「ピースしろ
ピース」

どろお...
催眠中

「あの叢雲にタツプリ
ぶっかけてやったぜw
写メ撮ってそのマヌケ面
晒してやるからな!
感謝の言葉はどうした? あ?」

「...ありがたう
ございまして...」
（死ねッ!）